

どちらのケースももう少し強引に精密検査をすすめていれば、悔やまれるケースです。

今まで便潜血(+)になられた方で初めての場合は、ポリープ(腸に出来るいぼ)の段階で見つかる場合がほとんどです。(中には一度目の便潜血(+)で癌が見つかり手術で事なきを得た方もおられますが…私の記憶では過去に1名のみ)

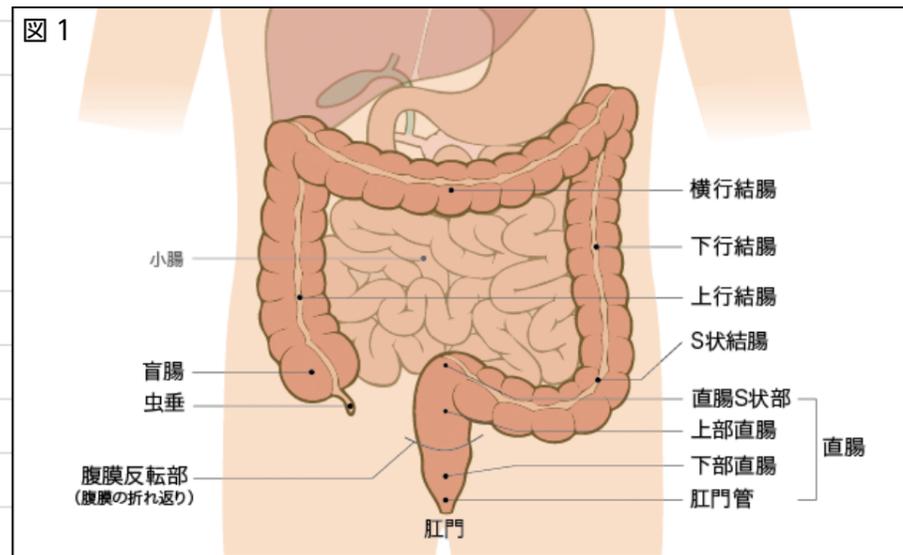
大腸に出来るポリープは大きさが6mm以上になると癌化しやすいといわれています。

今までの経験では3度目の便潜血(+)になると癌が見つかるケースが多いように思います。

便潜血(+)の結果が出たら、必ず大腸の精密検査を受けていただきたいと思います。

大腸がんのほぼ7割は左側(直腸、S状結腸、下行結腸)に出来るといわれています。(図1参照)

●図1 大腸の構造(国立がん研究センター がん情報センターHPより)



・左側(下行結腸、S状結腸、直腸)

血便、下血、便秘と下痢を繰り返す、便が細くなるなどの症状が見られます。

直腸付近では便を出した後も残便感が見られることもあります。

・右側(上行結腸、盲腸、横行結腸)

左側に比べ便の異常が見られにくくわかりにくい。腹痛、お腹の張り、貧血、しこりを触れるなど、食欲低下、体重減少、全身倦怠感が見られることも。

早期発見のためにも**便潜血反応検査で(+)の時は、必ず精密検査を受けましょう。**

*大腸がんの予防には食事と運動が大切

・運動：歩行、自転車などの軽い運動でも効果があります。ただし、継続することが大切。

運動は大腸がんの危険度を40~50%減らす~米国国立がん研究所

・食事：食物繊維(豆類、イモ類、野菜、海草、きのこなど)をしっかり取りましょう。

*飲酒は大腸がんのリスクを上げます

男性では1日のアルコール摂取量23g~46g未満で**1.4倍**。

女性では1日のアルコール摂取量23g以上で**1.6倍**。

(23g:日本酒1合、ビール大ビン1本、ワイングラス2杯) NHK 健康Cより

*ダイハツ系連合健康保険組合の2017年度の大腸がんのレセプト件数は、結腸がん186件、

1件あたりの医療費58,770円。直腸がん90件、1件あたりの医療費173,040円でした。

(大腸がんの疑いで行う精密検査もここに含まれています)

増加しつつある大腸がん、便潜血検査を受け早期発見に努めましょう!!

連載

保健指導ノートから

健康診断で便潜血(+)の結果が出たら、 大腸の精密検査を受けよう!!

保健師 たけもと 武本 ゆうこ 裕子

今年の夏は猛暑で夏バテをされた方も多いのではないのでしょうか?

少し涼しくなり始めると体調を崩しやすくなります。油断せず睡眠をしっかり

取って体調管理に気をつけましょう。



さて、今回は**大腸がん**のお話です。

大腸がんはがんの死因の中で男性では肺がん、胃がんについて第3位。女性ではがん死因の1位、その後肺がん、すい臓がんが続きます。

大腸がんは早期に発見すれば、手術でほぼ取り除くことができます。

ステージが進むと、抗がん剤や放射線療法等も必要になり、場所(直腸)によっては人工肛門の増設が必要になり、排尿障害や排便障害等の問題が出ることもあります。

便潜血(+)の結果が出たらぜひ精密検査を受けてください。

*大腸カメラがどうしても抵抗がある場合は他の検査方法もあります。(詳しくは保健師、又は主治医に相談を)

ケース1
(60代)

2012年~便潜血(+)精密検査をすすめたが、受診されませんでした。

2013年~便潜血(-)

2014年~便潜血(+)

2015年~便潜血(+)

2016年~便潜血(+)

(2014年~2016年出張等でお会いできなかったため、フォローが十分出来ず)

2017年2月に**横行結腸がん**と診断され、右半分の結腸を切除。11日間入院。(費用130万円弱)

ケース2
(60代)

2012年~便潜血(+)再度すすめるも来年(+)なら受診すると。

2013年~便潜血(-)

2014年~便潜血(+)精密検査すすめるも次回(+)なら受診すると。

2015年~便潜血(+)精密検査、「前年の約束なので」とすすめると「痔だと思っ」と主治医で再検査だけでもするよう紹介状を渡しました。

2016年~便潜血(-)

2017年11月進行**下部直腸がん**、**S状結腸早期がん**切除。人工肛門増設。17日間入院。(費用180万円強)